

## 災害現場活動のための最新技術活用検証会の開催

標記について、下記のとおり開催しますので御案内いたします。

### 記

#### 1 実施日時

令和8年10月15日（木）13時45分から16時00分頃まで

#### 2 場所

福島ロボットテストフィールド

（福島県南相馬市原町区萱浜字新赤沼83番 南相馬市復興工業団地内）

#### 3 内容

消防庁では、令和7年度より、関係省庁と連携し、スタートアップ企業等が開発した最新技術について、「最新技術活用検証会」を実施しています。（詳細は別紙1のとおり）

令和8年熊本地震では、崩落した大規模商業施設における情報収集活動において、屋内を飛行可能な情報収集用ドローンが活用されました。

こうした状況を踏まえ、崩落現場や建物内部等における情報収集に活用する小型ドローンについて、検証会を実施しますのでお知らせします。（詳細は別紙2のとおり）

#### 4 参加者

60名程度（消防機関、関係省庁、民間企業等）

#### 5 取材の希望の有無

取材を希望する場合は、次の(1)～(5)について明記の上、Eメールにて下記連絡先あてに令和8年10月13日（火）正午までにお申込みをお願いします。

##### (1) Eメールの件名

Eメールの件名は「(所属・氏名) 災害現場活動のための最新技術活用検証事業取材希望」としてください。

##### (2) 氏名（フリガナ）

参加者全員分ご報告ください。

##### (3) 職業（お勤めの方は勤務先及び役職）

参加者全員分ご報告ください。

##### (4) 連絡先

メールアドレス及び電話番号

##### (5) 取材希望の連絡先

取材を希望する場合は、Eメールにて以下までご連絡ください。

〈取材希望連絡先〉

消防庁総務課技術戦略室 中嶋・勝田・佐々木

E-mail : gisen\_atmark\_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「\_atmark\_」と表示しております。

送信の際には、「@」に変更してください。

なお、上記期限を超過してお申込みいただいた場合、取材をお断りさせていただく場合がございます。

## 6 取材に当たっての注意事項

- (1) 入場の際に受付に名刺をご提出願います。
- (2) ヘルメット、腕章を持参願います。
- (3) 撮影に関しては、検証会の進行に支障の無い範囲内で可能とします。
- (4) 申し込み多数の場合は、安全管理に支障を及ぼす可能性があるため、抽選のうえ、取材をお断りする、可能性があります。
- (5) 災害等の発生状況により、中止又は延期となる場合があります。
- (6) その他、係員の指示に従うよう願います。

# 災害現場活動のための最新技術活用検証事業

担当府省庁：消防庁

別紙1

(事業費：45百万円 (R8)、対象種別：調査・研究開発事業、事業期間：R7～R9)

連携先：内閣府 警察庁 文科省 経産省 国交省 防衛省  
防災科研、NICT、福島イノベ機構、地方消防機関

## 事業の目的

関係省庁と連携して、消防活動や関係省庁の災害対応に活用できる可能性があるものについて、共同で活用検証等を行うことで、消防分野のみならず国全体の様々な技術の現場活用や研究開発を促進します。

## 事業の内容

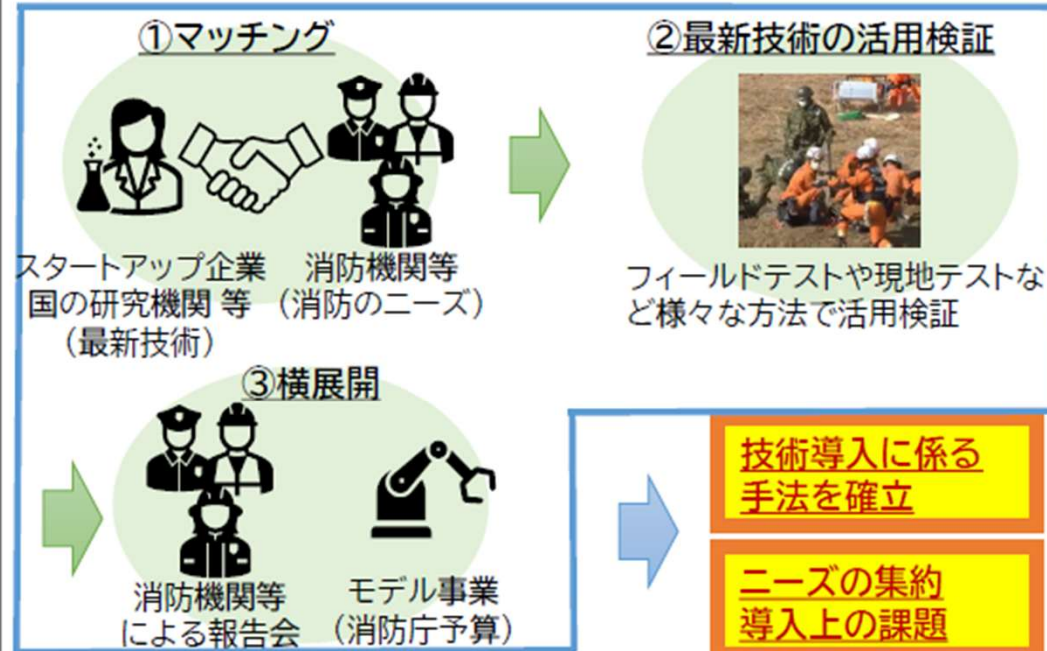
### (現状及び課題)

- ・企業等と共通の現場ニーズを有する省庁が技術の有効性を共同で活用検証する機会がありません。
- ・最新技術を消防分野等に導入するための具体的な手法が確立されていません。

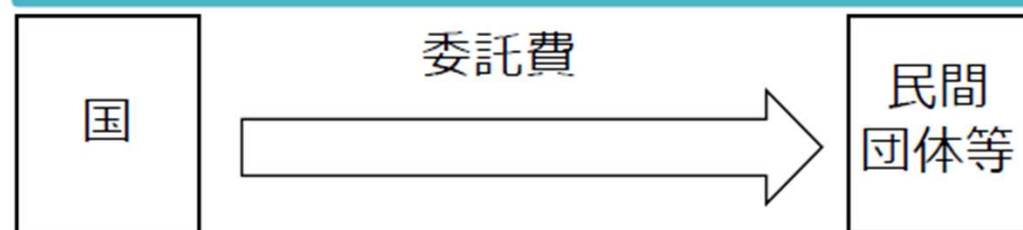
### (取組内容)

- ・最新技術の開発を進める省庁・研究機関・企業等と導入を進める省庁が連携し、共同で活用検証等を行います。
- ・国全体への技術導入に係る手法を検討するとともに、ニーズの集約・導入上の課題の整理により最新技術の現場導入や研究開発を促進します。

## 実施イメージ・具体例



## 事業のスキーム



## 事業により得られる効果 (アウトカム)

関係省庁等と連携して危険性の高い現場における最新技術の社会実装を図ることで、消防分野のみならず国全体の様々な技術の現場活用・研究開発の促進に貢献します。

令和8年熊本地震では、崩落した大規模商業施設における情報収集活動において、屋内を飛行可能な情報収集用ドローンが活用されました。

こうした状況を踏まえ、本検証会では、崩落現場や建物内部等における情報収集に活用する小型ドローン技術について、その有効性及び実用性を検証します。

## 【崩壊現場における情報収集活動で検証する小型ドローン】

操縦者から200m以上離れた閉鎖空間において、  
狭隘空間へ進入し情報収集が可能



IBIS2(Liberaware社)  
大きさ:194×198.5×58mm

## 【建物内部における情報収集活動で検証する小型ドローン】

操縦者から50m以上離れた屋内において、安全  
に飛行し情報収集が可能



Small Doctor Crawl(ERI Robotics社)  
大きさ:226×206×85mm